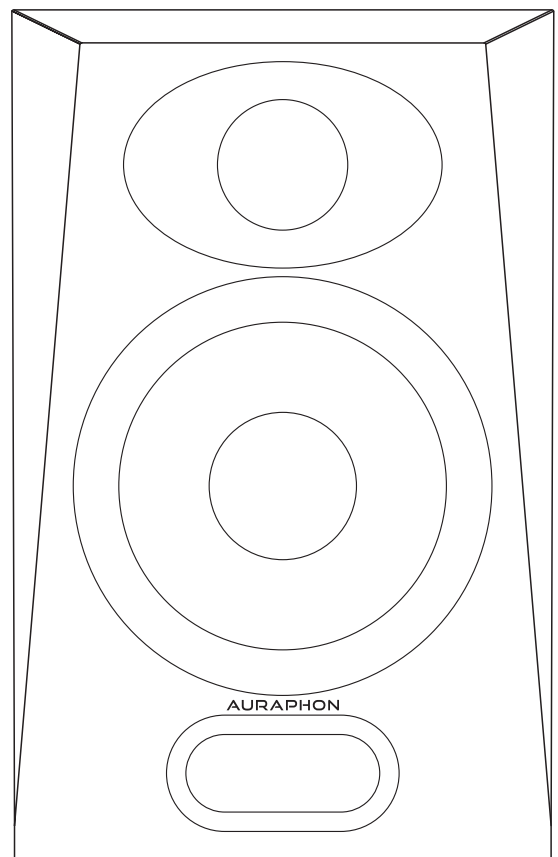
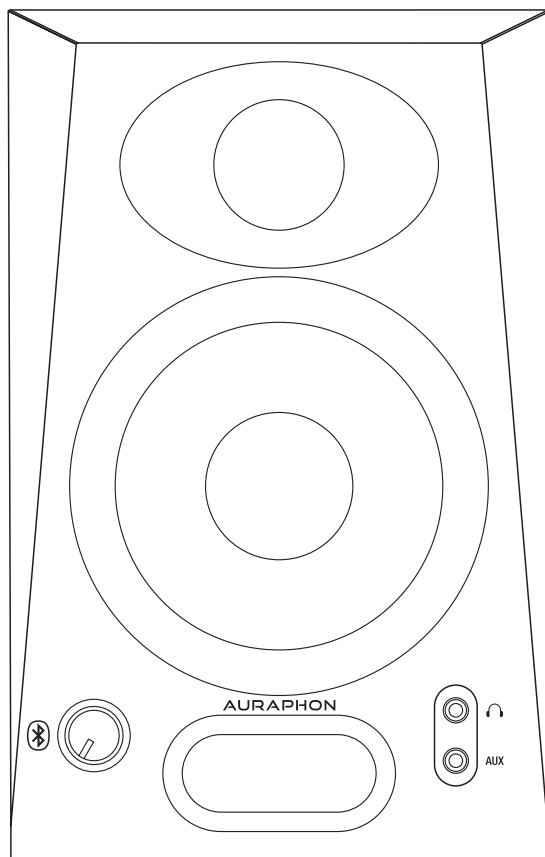


プロフェッショナルスタジオモニタースピーカー

クイックスタートガイド

PS3






安全上のご注意 ご使用および設置前によくお読みください。

本製品をご使用になる上での安全に関する事項を以下に記載します。これらの事項は、本製品をご利用になられる方や他の方々への危害や財産などへの損害を未然に防止するための説明です。本製品をご使用の前には必ずお読みの上、記載内容に遵守してください。

本書は本製品を使用される方がいつでも閲覧できるよう保管してください。

記号表記について

本書に記載されている記号は、以下の意味を含みます。

-  禁止事項であることを示します。具体的な禁止事項はその行為に関連した絵柄が含まれることがあります。
-  注意事項であることを示します。具体的な注意・警告事項はその行為に関連した絵柄が含まれることがあります。
-  指示事項であることを示します。強制事項を含みます。



警告

下記事項は、記載内容や指示を無視して、誤った取り扱いをした場合、死亡や重傷を負う可能性、火災の原因になる可能性があることを示唆する内容を含みます。



本書を最後まで読むこと：本製品を安全かつ正しく利用するために本書の記載内容に遵守してください。



異変を感じたら直ちに電源プラグを外す：電源ケーブルやプラグの破損、製品から異常な臭いや煙の発生、製品に液体や異物の混入、破損した場合などの事象に遭遇したり、異常を感じたり、あるいは故障の疑いがある際、直ちに電源をオフにしてコンセントから電源プラグを抜き、販売店にお問い合わせください。そのまま使用すると火災・感電の原因になる可能性があります。



液体に曝さない。多湿環境で使用しない：本製品は屋内使用のために設計されています。天候に左右される屋外使用には適していません。屋内使用でも湿気が多いところや液体の近くに設置しないでください。また、製品の上に花瓶やコップなど液体の入った容器をおかないでください。異物混入の防止に努めてください。濡れた手で接続をしないでください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になる可能性があります。



分解しない。改造や修理をしない：許可を受けた業者、技士以外の人間が本製品を分解、修理することはできません。本製品の内部にユーザーが交換できる部品はありません。非認可の分解、改造および修理は、有償・無償に関わらず、本製品に関するすべてのサービスが失効となるだけでなく、火災・感電・故障の原因になる可能性があります。



長期間使用しない場合や落雷時は電源プラグを外す：長い期間使用する予定がない場合、雷鳴が聞こえた場合は、電源プラグを外してください。火災・感電・故障の原因になる可能性を防ぎ、製品寿命を保ちます。



音量に十分な注意を払う：電源をオンにする前に、他の接続機器をすべてオンにし、不用意に大音量にならないように再確認をしてください。電源をオフにする際は、本製品の電源を最初にオフにします。またヘッドフォンを使用する際は音量に配慮し、長時間の大音量使用を避けてください。不要な大音量は本製品の破損や聴覚障害の原因になる可能性があります。



注意

下記事項は、記載内容や指示を無視して、誤った取り扱いをした場合、負傷や物的損害の原因になる可能性があることを示唆する内容を含みます。



設置と接続に十分な注意を払う：埃が多く汚れた環境で使用しないでください。設置をする際、落下しないように注意を払い、安定した場所に設置してください。接続をする際は電源がオフになっている状態で行ってください。接続には定められたケーブルやコードを使用し、プラグやコネクタ、コンセントが汚れていないことを確認し、プラグを持って奥までしっかり装着してください。接続をしたまま移動をしないでください。不安定な設置は負傷や破損の可能性があります。汚れた接続のままの使用、不適切なケーブルを使用した接続、電源ケーブルを破損させるような扱いは、火災・感電・故障の原因になる可能性があります。



熱源の近くで使用しない：ラジエーター、暖房器具、ストーブ、またはその他の熱を発生する機器（アンプを含む）や熱源の近くに設置しないでください。また、製品の上に火のついた口ソクや裸火のもの、高温になる物体をおかないでください。そのまま使用すると火災・感電・故障の原因になる可能性があります。



お手入れは適切に：本製品を清掃する際は、電源をオフにして、乾いた布を使用してください。濡れた布を使用した場合、感電する可能性があります。特にクリーナー材などの薬品を使用した場合、外装に損傷を与える可能性があります。

接続図

本製品は、片側のスピーカーに入力とパワーアンプが集約した設計です。左側がパワーアンプ装備のもので、パワード（またはアクティブ）スピーカーと呼ばれます。右側のスピーカーはパワーアンプの無いスピーカーで、パッシブスピーカーと呼ばれます。

本製品の有線接続は以下の順番で行います。

- ① 付属のスピーカーケーブルでパッシブスピーカー端子同士（右の PASSIVE SPEAKER INPUT と左の OUTPUT TO PASSIVE SPEAKER）を繋ぎます。
- ② 本製品は、様々な接続方法を提供します。

アナログ有線入力：RCA ピン（赤 = 右、白 = 左）のアンバランス接続

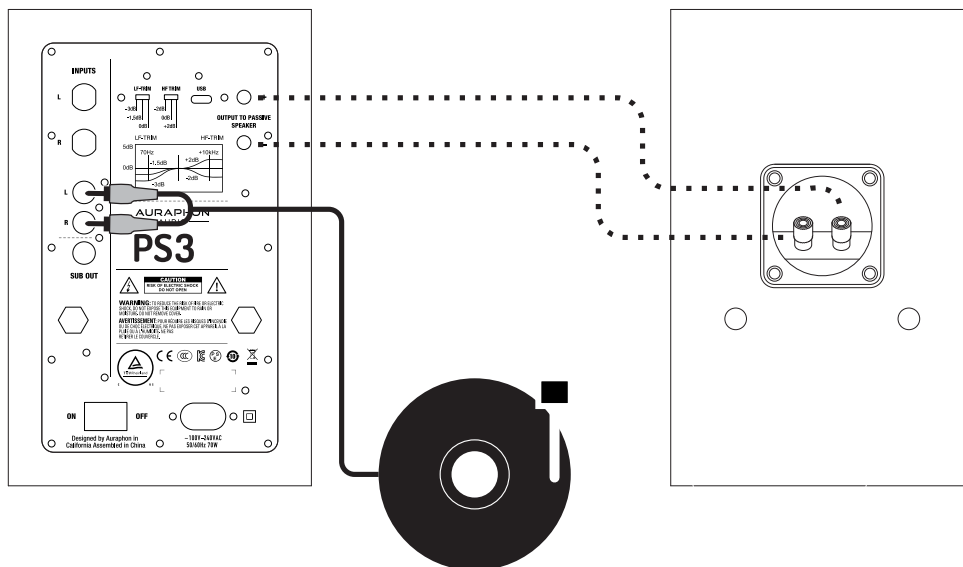
1/4" TRS フォーンのバランス接続または 1/4" TS フォーンのアンバランス接続

1/8"（3.5mm）のミニステレオプラグのステレオアンバランス接続（フロントパネル）

デジタル有線入力：USB-C 接続（クラスコンプライアント、ドライバー不要、スマートフォンへの給電はできません）

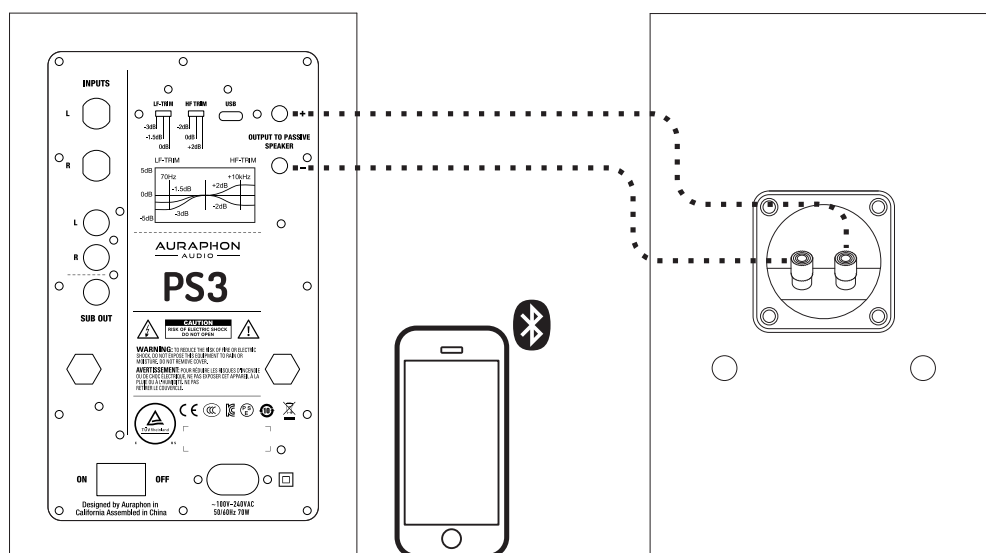
デジタル無線入力：Bluetooth 接続（Bluetooth 4.5 audio）

アナログステレオ接続



アナログデバイスとの接続は、リアパネルの TRS または RCA 入力、もしくはフロントパネルのミニステレオ入力を使用します。オーディオ機器の出力を音量が歪まないようにを適切に調節し、フロントパネルのボリュームを（数回）押して、外周が水色に点灯するようにします。

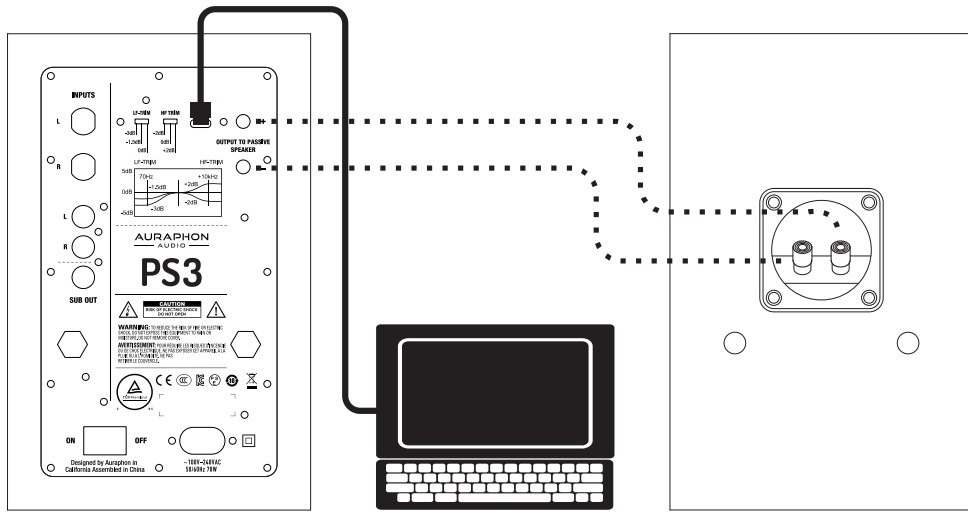
Bluetooth 接続



Bluetooth オーディオソースとペアリングを完了すれば利用可能になります。オーディオ機器の出力を音量が歪まないようにを適切に調節し、フロントパネルのボリュームを（数回）押して、外周が青色に点灯するようにします。

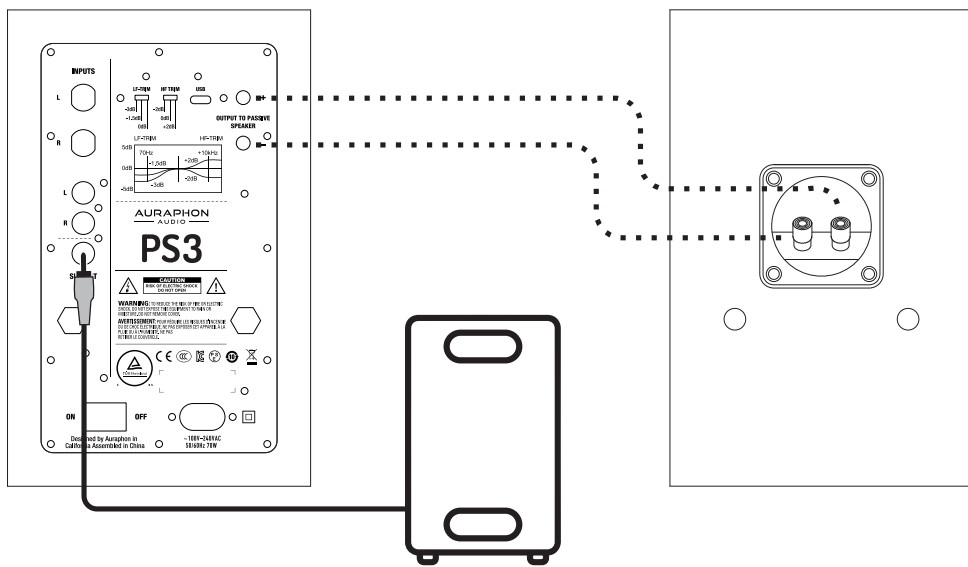
接続図

USB 接続



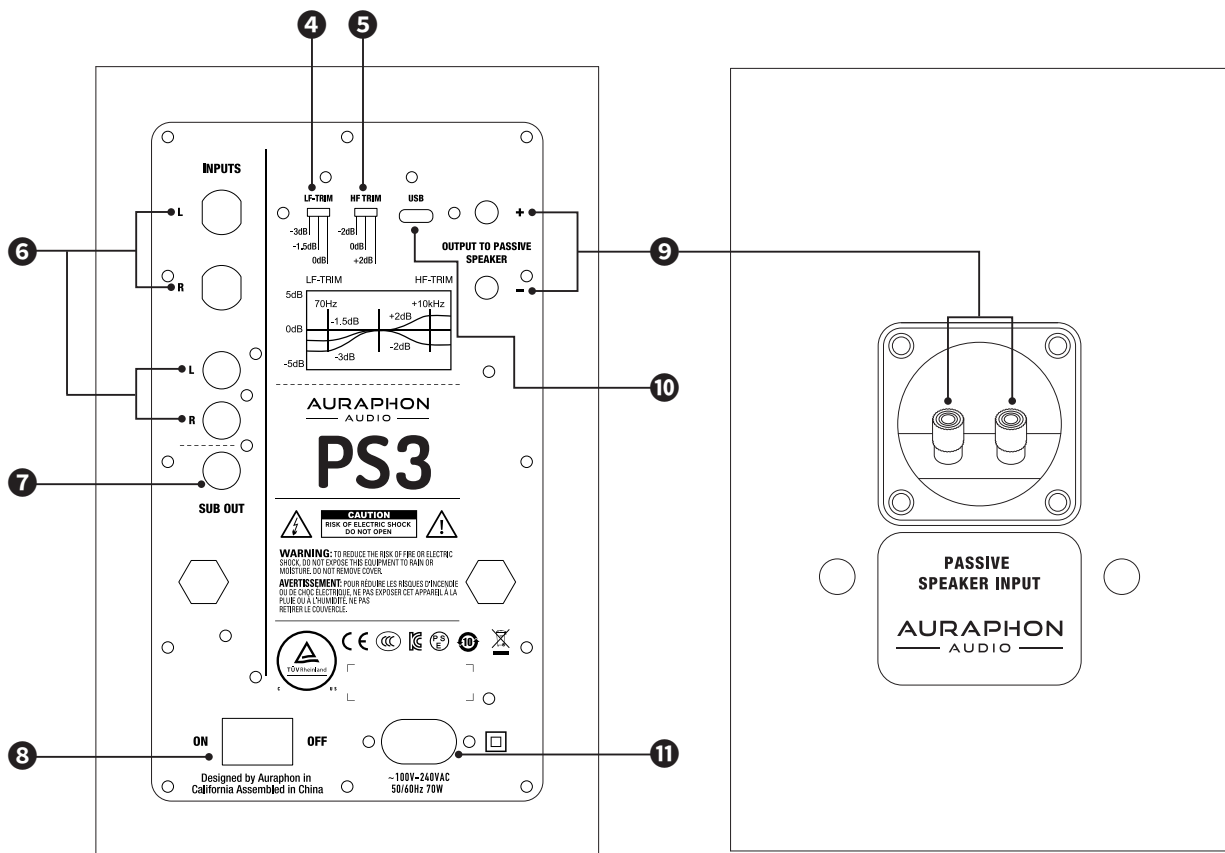
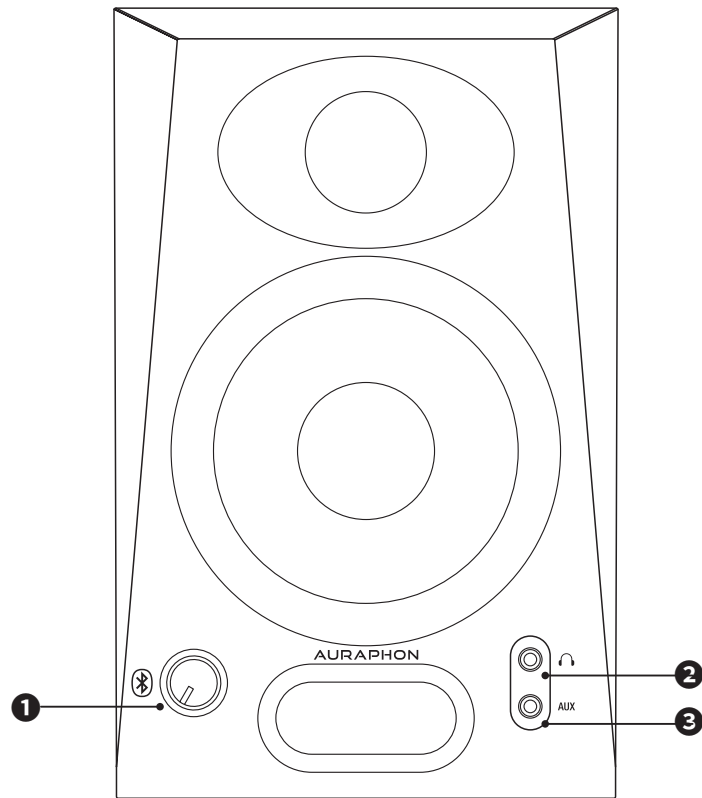
コンピューターやタブレット PC、スマートフォンなどと USB で接続する場合、付属の USB-C ケーブルを使用します。USB オーディオソース側の端子が USB-C ではない場合は、ソース機器の推奨するケーブルを別途ご用意ください。オーディオ機器の出力を音量が歪まないようにを適切に調節し、フロントパネルのボリュームを（数回）押して、外周が緑色に点灯するようにします。

サブウーファー接続



本製品は、より深い低音を得るために市販のアクティブサブウーファーを繋ぐことが可能です。モノラルの RCA ケーブルで SUB OUT とサブウーファーの入力をアンバランス接続します。

フロント&リアパネル



フロント & リアパネル各部説明

① Bluetooth / 入力選択 / ボリュームノブ

音量調整に使用します。

このノブはプッシュスイッチ仕様で、Bluetooth 接続、および入力ソースの選択に使用します。

Bluetooth に関する操作：

- ・ ノブを押し続ける - ペアリングをします。
- ・ ノブを押してすぐに離す - 最後に接続したデバイスと接続します。接続後はオーディオ再生の一時停止を操作します。

メモ：接続が確立すると LED が青色に変わります。静電気放電 [ESD] の影響を受けると、Bluetooth が切断されることがあります。

入力ソースの選択：

- ・ ノブを押すごとに Bluetooth - アナログ - USB の順に入力ソースが切り替わります。
- ・ 外周の LED もこれに合わせて青色 (Bluetooth - 水色 (アナログ) - 緑色 (USB) と変わり、現在のソースを示します。

② ヘッドフォン出力

ステレオヘッドフォンを接続するためのミニステレオ (3.5mm) 出力です。接続をするとスピーカー出力が自動的に遮断されます。

③ AUX 入力

ステレオミニ (3.5mm) のアナログ入力です。ポータブルデバイスやノート PC などと一時的な接続に便利です。

④ BOUNDRY EQ (バウンダリー・イコライザー)

低音域の調整に使用します。低音が出過ぎると感じた際に、70Hz 以下の帯域を最大で 3dB 下げます。

⑤ HF-TRIM (ハイフリクエンシー・トリム)

高音域の調整に使用します。10kHz 以上の帯域を最大 2dB の増減をします。

⑥ INPUTS (インプット)

コンピュータ、ミキサーまたは他の信号ソースからのラインレベル信号を接続するための入力です。

- ・ 1/4" TRS フォーンのバランス接続または 1/4" TS フォーンのアンバランス接続
- ・ RCA ピン (赤 = 右、白 = 左) のアンバランス接続

⑦ SUB OUT

サブウーファーを接続するための RCA アンバランス出力です。

⑧ 電源スイッチ (ON / OFF)

このモニタースピーカーの電源オン / オフを切り替えます。電源が入ると前面の LED が点灯します。

⑨ スピーカー端子 (OUTPUT TO PASSIVE SPEAKER / PASSIVE SPEAKER INPUT)

左右のスピーカー同士を繋ぐプラスとマイナスのスプリングターミナルです。付属のスピーカーケーブルで、パワーアンプ内蔵スピーカー (左) の出力 (OUTPUT TO PASSIVE SPEAKER) からパッシブスピーカー (右) の入力 (PASSIVE SPEAKER INPUT) を繋ぎます。

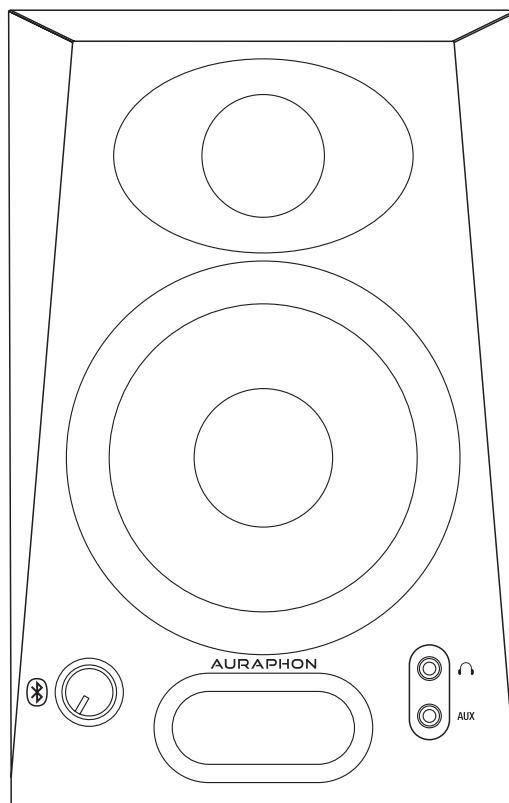
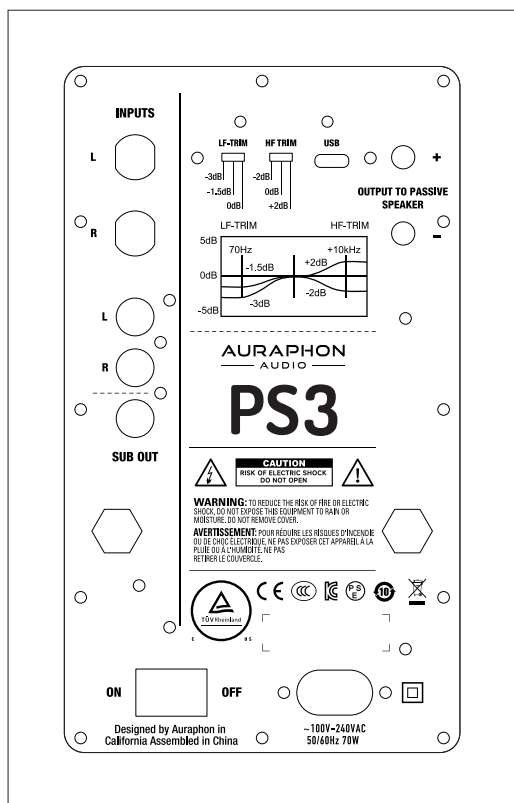
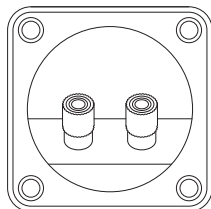
⑩ USB 入力

Type-C 端子の USB オーディオ入力です。コンピュータと USB 接続をするとサウンドカード (デジタル音声出力) デバイスとして機能します。

⑪ 電源ソケット

電源入力です。付属の電源ケーブルを使用してコンセントと接続します。

始めましょう



開始手順

1. 2ページの「安全上のご注意」を読み、理解してください。
2. パワースピーカーを左側、パッシブスピーカーを右側に設置します。
3. すべての機器の電源スイッチがオフの状態、最初の接続を行います。このモニタースピーカーのボリュームコントロールが完全に絞られていることを確認します。
4. 付属のスピーカーケーブルを付属のスピーカーケーブルで、パワーアンプ内蔵スピーカー(左)の出力(OUTPUT TO PASSIVE SPEAKER)からパッシブスピーカー(右)の入力(PASSIVE SPEAKER INPUT)の+同士と-同士を繋ぎます。
5. 付属の電源コードをスピーカーの電源ソケットとACコンセントにしっかり差し込みます。このモニタースピーカーは、バックパネルに表示された電圧に対応・動作します。
6. 有線接続が必要な場合はオーディオソースとなる機器と接続します。
7. オーディオソースやコンピュータの電源を入れます。次にバックパネルの電源スイッチをオンにして、PS3モニターの電源を入れます。
8. Bluetooth接続をする場合は、フロントパネルのボリュームボタンを長押ししてペアリングモード(LEDの青色点滅)にし、Bluetooth機器からペアリングを完了します。
9. Bluetooth機器(例えばスマートフォン)のボリュームが上がっていることを確認し、フロントパネルのボリュームコントロールを聴きやすいレベルまでゆっくりと回して、オーディオファイルの再生を開始します。

製品仕様

PS3

主要規格

| | |
|--------------------|-------------------------------|
| 製品種別 | PS3 パワードモニタースピーカーシステム |
| アンプ方式 | デュアルクラス D |
| アンプ出力 | 35W RMS / チャンネルごと、AES 準拠 |
| ドライバー | 3.5" ウーファー 1" シルクドーム・ツイーター |
| 周波数特性 | 68Hz - 22kHz ± 2.0dB |
| SNR (信号ノイズ比) | 85dB 以上 (typical A-weighted) |
| THD+N (高調波歪 + ノイズ) | 0.05% 以下 @ 全パワー設定 |
| クロストーク | 60dB 以下 |
| 入力インピーダンス | 10k Ωアンバランス |

接続端子

| | |
|----------|--|
| 入力 | 3.5mm (1/8") ステレオミニ x1 (AUX) 6.35mm (1/4") x2 (LR) RCA x2 (LR) |
| 出力 | RCA x1 (サブ出力) 3.5mm ステレオミニ x1 (ヘッドフォン出力) |
| スピーカー入出力 | プッシュ型スプリングタイプ x2 (出力 = アクティブ側、入力 = パッシブ側) |

デジタル変換

| | |
|--------|---|
| USB 接続 | Type-C コネクター、USB クラスコンプライアント、オーディオデータ転送のみ |
| 動作温度範囲 | 0 ~ 50° C |

Bluetooth

| | |
|-----------|------------------|
| レシーバー | BT8961 |
| プロトコル | 5.4 audio |
| コーデック | AAC、SBC |
| ワイヤレス動作範囲 | 最大 100ft (30m) |
| 入力データレート | Bluetooth ソースに依存 |

電源

| | |
|------|---|
| 電源 | AC 100 - 240V 50/60Hz 自動切替 |
| 消費電力 | 70W |
| 保護回路 | 温度超過によるカレント電流のサーマルリミッター 電源オン・オフ時のトランジェント (過電流) プロテクション |

寸法

| | |
|------------------|--|
| 本体寸法 (H x W x D) | 9.45" x 5.51" x 6.89"、スピーカーごと、突起物含まず |
| 本体重量 | 2.26 Kg/4.98 lbs (左スピーカー) 1.87 Kg/4.12 lbs (右スピーカー) |
| 出荷寸法 (H x W x D) | 12.52" x 14.88" x 10.23" |
| 出荷重要 | 5.9 Kg / 13.01 lbs (スピーカーペアを含むパッケージ全体) |